# 生産性向上支援訓練カリキュラム

| A. バックオフィス | ChatGPT等でビジネスに効果的な使い方を学ぼう！ |
|---|---|
| 新技術活用 | **生成AIの活用** |

| | |
|---|---|
| コースのねらい | 生成AIの概要とビジネスの現場における、具体的な活用シーン等について理解し、AIと協働することによる業務の質とスピードを高める技術を習得する。 |

| | |
|---|---|
| 対　象 | （中堅・管理者層向け）<br>・ChatGPT等の活用事例を知りたい方<br>・生成AIのリスクやメリット・デメリットを知りたい方 |

| 講義内容 | | 「基本項目」 | 「主な内容」 | 訓練時間（H） |
|---|---|---|---|---|
| | 1 | 生成AIの概要 | （1）生成AIの業界マップと世界情勢<br>2022年から生成AIブームが巻き起こり、現在では個人でも法人でも生成AIを活用した業務改善の事例が数多く生まれています。ここではそもそものAIの定義と歴史、生成AIの概要、主要な生成AIサービスについて解説します。 | 1.0 |
| | | | （2）大規模言語モデルとプロンプト【演習あり】<br>生成AIは大規模言語モデル（LLM）という仕組みで動作しています。LLMとは何なのか、どのような仕組みで生成AIは文章などを出力しているのかを解説します。その上で、生成AIのハルシネーションが起こり得ることとそれを防止するための考え方を学びます。生成AIへの適切な指示（プロンプト）について演習を通じて学習します。 | 1.5 |
| | | | （3）守るべき倫理・安全性・透明性・責任等<br>LLMの仕組み上、ハルシネーションの発生や他者の権利を侵害してしまう危険性もあるため、生成されたコンテンツ（文章や画像、音声、動画等）を業務で安全に利用するための基本的な考え方を学びます。生成AIに入力したプロンプトの安全性や機密性、無料サービスと有料サービスの違い、個人向けと法人向けサービスの違いについても学びます。 | 0.5 |
| | 2 | 生成AIの活用事例と今後の展望 | （1）生成AIの活用事例紹介<br>生成AIの活用例を紹介します。また、デモ環境でChatGPT、Microsoft 365 Copilot、GeminiとNotebookLMを使った事例（問い合わせ対応の自動化、情報検索、議事録からナレッジを再生産など）を再現します。 | 1.0 |
| | | | （2）生成AI導入の課題【演習あり】<br>生成AIを企業で導入する際には、情報基盤の構築と運用、適切なライセンスの管理、コンプライアンスとセキュリティの徹底が求められます。ここではどのような基盤を構築する必要があるのかを事例を交えて解説します。その上で、自社で生成AIを導入・活用するためのポイントをまとめるワークを行います。 | 1.0 |
| | | | （3）多様な業務への応用と規制【演習あり】<br>製造・サービス・医療・介護・バックオフィスなど様々な業種や職種の仕事を題材に、生成AIでの業務改善演習を行います。プロンプト設計、評価、リスク対策を実践し、法規・ガイドラインと社内規程の整備ポイントも学びます。 | 1.0 |
| | | | 合計時間 | 6.0 |

**カリキュラム作成のポイント**

本カリキュラムは、中小企業でもすぐに活用できる実務テーマと身近なツールを採用し、既存環境での導入を想定して構成します。初学者でも安心して学べるように、基礎→応用の順で段階的に進め、用語解説と操作ガイドを丁寧に示します。演習では自社に近い課題でプロンプト設計・評価・改善を体験し、効果とリスク対策を実感できるようにします。
ChatGPTを中心に、企業で生成AIを活用する際に必要となる基礎知識や留意点も学ぶ内容となっております。

**備考**

・受講者用PC　ChatGPT有料版(1台/グループ)を講師が用意（最大5台）。受講者のスマホ等で操作する際はインターネット環境も講師が用意